

1 農業・鉱業の発達

- (1) 幕府や藩は、財政の基礎である年貢を増やすため、盛んに(**新田開発**)を行った。
- (2) もみをふるい分ける(**千石どおし**)など、新しい農具が開発された。
- (3) (**干鰯**)や油かすなど、お金で買う肥料が使われるようになった。
- (4) 青木昆陽が(**さつまいも**)の栽培に成功するなど、各地に特産物ができた。
- (5) (**佐渡**)の金山・生野の銀山・足尾の銅山といった鉱山が開発された。

2 交通の発達

- (6) 物資や人の移動が多くなり、江戸の日本橋を起点として(**五街道**)が整備された。
- (7) 幕府は江戸を防備するため、(**関所**)を置いて通行人を取り締まった。
- (8) 都市間の素早い通信のため、(**飛脚**)が発達した。
- (9) 江戸・大坂間の海路には定期便ができ、(**菱垣廻船**)や樽廻船が運航した。
- (10) 太平洋側を通る(**東廻り航路**)などが開かれ、各地の物資が江戸・大坂に運ばれた。

<ワンポイント解説>

- ... 有明海の干拓や、箱根用水の開削が有名。
- ... 千歯こきは、脱穀のための道具。
- ... お金で買う肥料を、金肥と言う。
- ... 他にも、かぼちゃやすいか・どうもころしなどが栽培されるようになった。
- ... 金・銀・銅は最大の輸出品で、幕府が鉱山を管理し、貿易を独占した。
- ... 東海道・中山道・奥州街道・日光街道・甲州街道のこと。
- ... 箱根などに置かれた。
- ... 街道沿いの宿場ごとに、リレーのようにして運んだ。
- ... 積み荷が落ちないように、菱形の竹垣を組んだことから、このように呼ばれる。
- ... 日本海側を通る航路は、西廻り航路と言う。



【アプリ版のご紹介】中高生の日本史

壬申の乱、壇ノ浦の戦い、六波羅探題、建武の新政、元禄文化、桜田門外の変、、日本史を学ぶ上で絶対に抑えておきたい重要事項を、時代の流れに沿って収録。はじめから順に解いていくことで、日本史の大きな流れを記憶することができます。



【他アプリからオマケの一題】

中高生の漢文

次の白文の、下線部の読み方は？ 人未還
(A) かへるべし (B) かへるなり (C) かへらず (D) かへらんや